

まとめ

県民アンケート

- ◆ 8割以上の方が気候変動を実感し、うち7割以上の方が自然災害や熱中症の増加に不安を感じていることや「適応策」という考え方の普及が課題として明らかとなった。

農林水産団体からの情報収集

- ◆ 農業では、気温の上昇等を要因とする柑橘類の果皮障害や米の白未熟粒、ブドウの着色不良、家畜の生産性低下等が発生。 適応策として高温耐性品種の導入や生産施設の環境改善等が必要
- ◆ 林業では、豪雨・多雨による山腹や林道等の崩壊や鳥獣被害等が発生。 適応策として、排水対策や治山事業、鳥獣用の防護柵の設置等が必要
- ◆ 水産業では、漁獲量の減少、養殖魚の疾病、アコヤ貝のへい死等が発生。 要因は水温上昇の他、複合的で特定できないものが多く、今後の課題